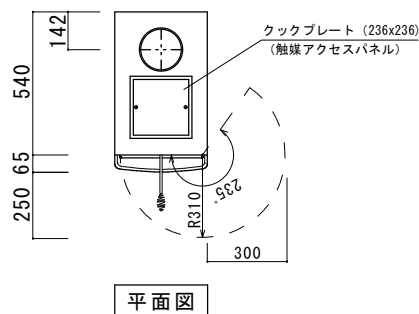
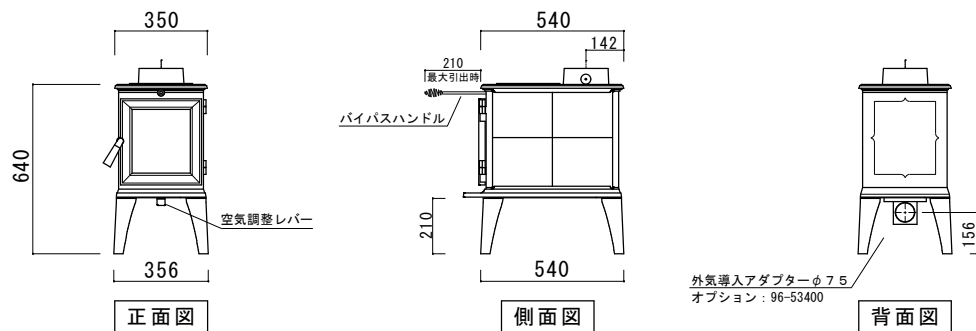
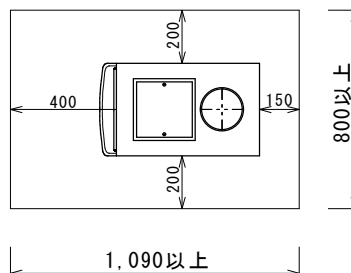
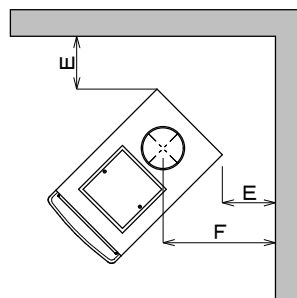
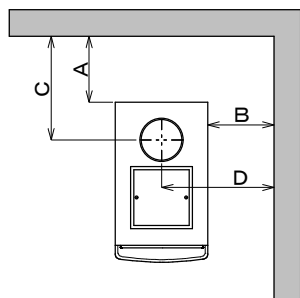




炉台保護範囲図



本体離隔距離図



機種名	リンカーン 8060 トゥルーハイブリッド		
色 (品番)	マットブラック (8060-4110)		
最大出力	5,800 kcal/hr [6.74 kW]		
最大暖房面積	50 m ² [15坪]		
重量	90 kg		
最大薪長さ	450 mm (推奨長さ: 400 mm)		
使用煙突径	150 mm (6 inch) [接続: 上面]		
燃焼効率	78.5 % (HHV)		
排気煙量 ※1	1.14 g/hr (EPA2020認定機種)		
燃焼方式	ハイブリッド (クリーンバーン二次燃焼+触媒)		
オプション	リアヒートシールド	○ (90-68601)	
	サイドヒートシールド	○ (90-68605)	
	外気導入アダプター	○ (96-53400)	

※1 米国EPA新規制 (2020 NSPS) 基準値: 2.0g/hr 以下

◆炉台保護最小寸法 (単位mm)

前方	後方	側面	幅	奥行き
400以上	150以上	200以上	800以上	1,090以上

- ・トッププレートからの寸法です。
- ・ストーブを設置する床は不燃材で保護してください。熱抵抗値 (R 値) 要件はありません。

◆可燃壁からの本体離隔距離 (単位mm)

	A	B	C	D	E	F
ヒートシールド無	250	560	400	750	350	600
サイドヒートシールド有	250	250	400	450	350	600
リアヒートシールド有	100	560	250	750	350	600
リア+サイドヒートシールド有	100	250	250	450	200	450

- ・リア/サイドヒートシールドはハースストーン社の純正品に限りま。 (オプション: 90-68601/90-68605)
- ・A, B, Eはトッププレートからの距離です。
- ・遮熱板 (25mm以上の空気層のある不燃壁) でも、リア+サイドヒートシールド有の数値が最小値となります。
- ・数値は試験値であり、保証値ではありません。
- ・ストーブを設置する際は、ストーブと煙突の両方のクリアランスを満たすよう設置してください。
- ・煙突クリアランス (可燃物より)
 - 断熱二重煙突: 150mm以上 (インナー管より)
 - 室内中空二重煙突: 150mm以上 (アウター管より) * ICCウルトラブラック
 - シングル煙突: 460mm以上

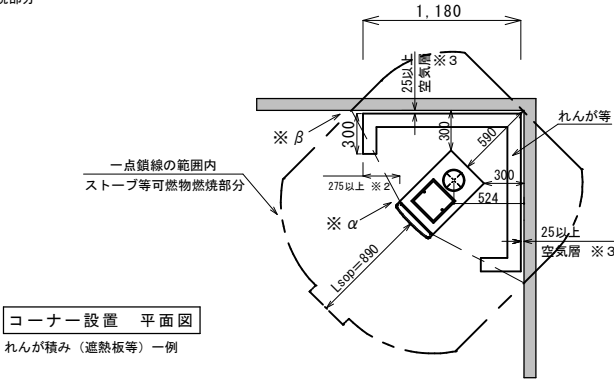
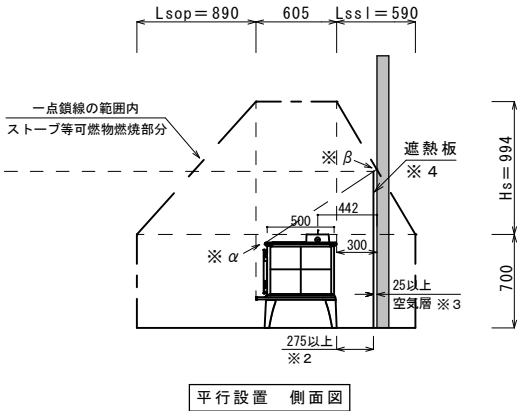
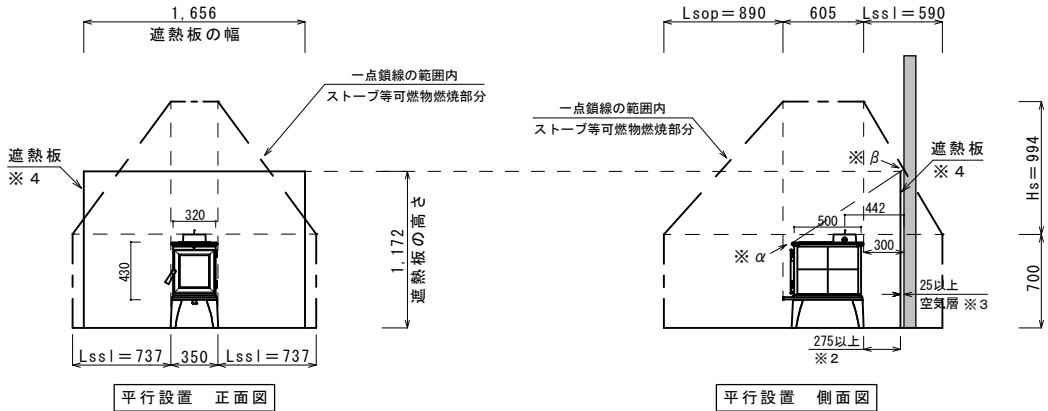
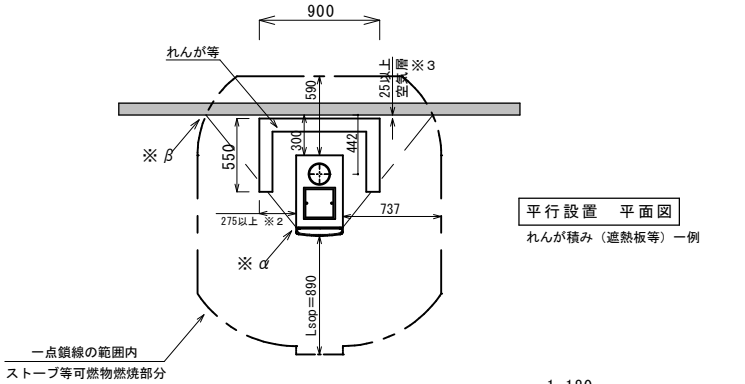
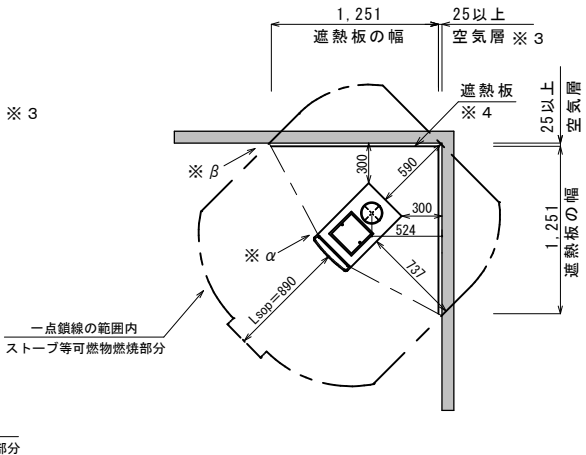
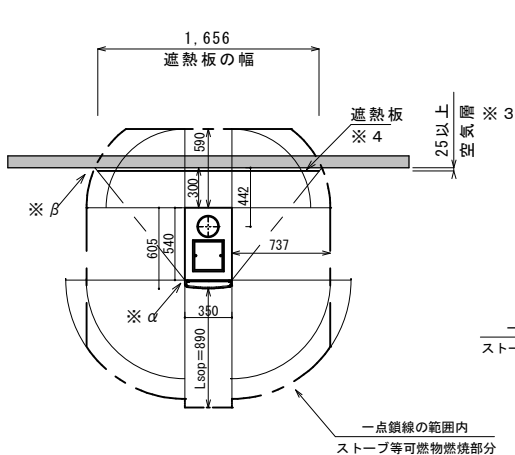
本体寸法 (cm)		A _v : ストープ鉛直投影面積 (cm ²)		L _s : 可燃物燃焼水平距離 (mm)		遮熱板設置時最小距離 (mm)	
H 高さ	43.0	正面 / 背面	A _v = 43.0x32.0 = 1376.0	正面 (ガラス)	L _{sop} = 2.40√A _v ≒ 890	正面	= 300
W 幅	32.0	側面	A _v = 43.0x50.0 = 2150.0	側面	L _{sop} = 1.59√A _v ≒ 737	側面	= 300
D 奥行	50.0			背面	L _{ssl} = 1.59√A _v ≒ 590	背面	= 300
		A _h : ストープ水平投影面積 (cm ²)		H _s : 可燃物燃焼垂直距離 (mm)			
		上面	A _h = 35.0x60.5 = 2117.5	上面	H _s = 994		
		※投影面積はアッシュリッップを含む					

- ※1: ストープ等は1秒間当の発熱量が18kw以下のもの
 ※2: 遮熱板等とストープ等との距離(遮熱板等の厚みを含む)は27.5cm以上とすること
 ※3: 遮熱板等とストープ等可燃物燃焼部分の壁との距離は2.5cm以上とすること
 ※4: 特定不燃材料とする

特定不燃材料

- | | |
|-----------------------------|---|
| ・コンクリート | ・鉄鋼 |
| ・れんが | ・金属板 |
| ・瓦 | ・モルタル |
| ・陶磁器質タイル | ・しっくい |
| ・繊維強化セメント板 | ・石 |
| ・ガラス繊維混入セメント板
(厚さ3mm以上) | ・せっこうボード
(厚さ12mm以上でボード用原紙の厚さが0.6mm以下のもの) |
| ・繊維混入ケイ酸カルシウム板
(厚さ5mm以上) | ・ロックウール
・グラスウール板 |

ストープ角(※α)と、ストープ等可燃物燃焼部分と可燃物の交点(※β)を結んだ直線上に、特定不燃材料等の遮熱板を設け有効に遮熱すること



※この資料に示す遮熱板範囲は一例です。
 ストープの設置の仕方(向き)、周壁や天井等との位置関係、
 遮熱板を設ける位置によりさまざまな場合が考えられます。